

杉並区立小中学校老朽改築計画

(第1次改築計画)

平成26年5月

杉並区教育委員会



1	はじめに	1
2	学校を取り巻く現状と課題		
	(1) 学校施設の老朽化	1
	(2) 児童・生徒数の推移	2
3	老朽改築計画の位置付けと進め方		
	(1) 計画の位置付け	2
	(2) 計画の期間	2
4	老朽改築計画の基本的な考え方		
	(1) 学校施設の改築時期	3
	(2) 財政負担の軽減	3
	(3) 学校適正規模の確保及び小中一貫教育の推進	4
	(4) 改築校の選定について	5
5	改築にあたっての留意点	5
	(1) 学習環境の充実及び環境への配慮	5
	(2) 施設のバリアフリー化の推進	5
	(3) 防災拠点としての機能強化	5
	(4) 特別支援学級等の設置の検討	5
	(5) 施設の複合化・多機能化	5
	(6) 施設の長寿命化対策	5
	(7) その他(仮設校舎)	6
6	第1次改築計画の対象校について	6
資料編			
	(資料1-1) 小学校の築年数及び建物規模一覧	8
	(資料1-2) 中学校の築年数及び建物規模一覧	9
	(資料2) 小中学校築50,55,60,65年経過一覧表	10
	(資料3-1) 近年の改築校の経費	11
	(資料3-2) 改築に伴う歳入(国庫負担金・補助金等)	11
	(資料4-1) 小学校標準建物面積一覧	12
	(資料4-2) 中学校標準建物面積一覧	13

1 はじめに

杉並区の小中学校は、平成 26 年 4 月現在で、小学校 42 校、中学校 23 校、特別支援学校 1 校の計 66 校である。

これらの学校の内、その 7 割近くの学校が、今後 10 年間（平成 35 年度）までに築後 50 年を経過し、施設の老朽化による改築時期を一斉に迎える。

また、区の一般施設でも平成 35 年頃から築 50 年を迎える建物が増加し、「杉並区区立施設再編整備計画」（以下、「施設再編整備計画」という。）によると、この先 30 年間の改築・改修経費として、学校を含めて推計で約 2,779 億円の経費が必要としている。

そのため、持続可能な行財政運営を行っていくため財政負担の平準化など、総合的・長期的な視点に立って、着実に学校の改築を推進できる計画の策定が急務である。

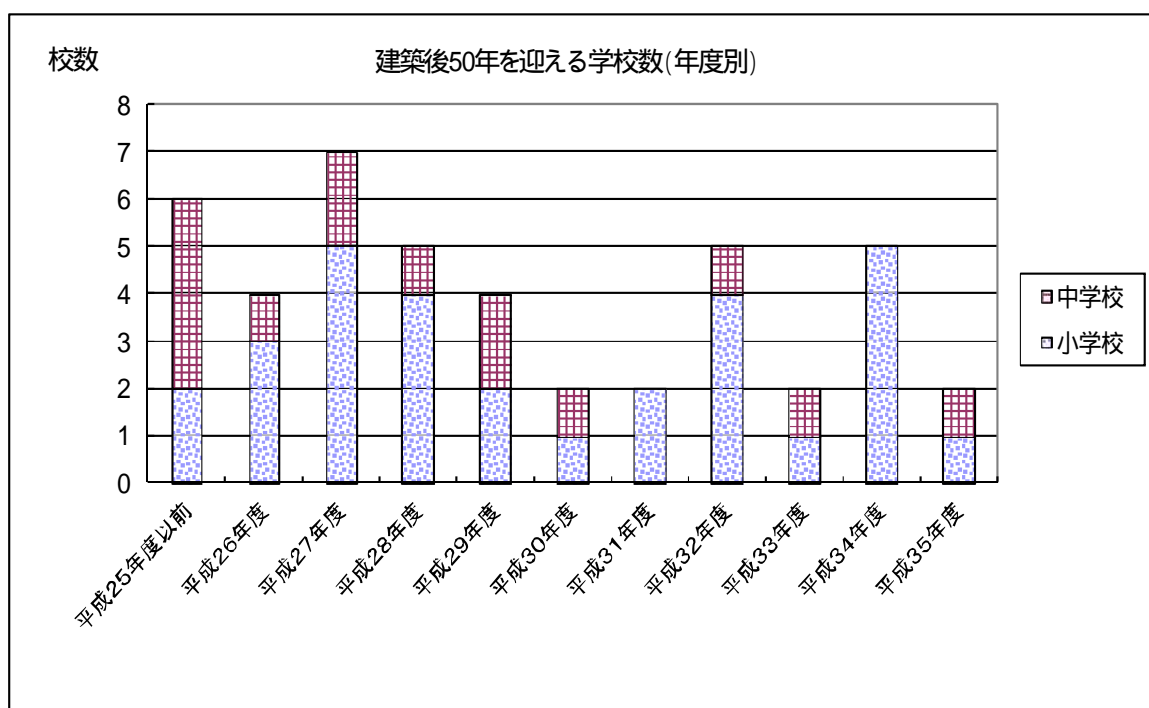
この「杉並区立小中学校老朽改築計画」（以下、「老朽改築計画」という。）は、上記の観点から、学校施設の現状を整理したうえで、学校改築にあたっての基本的な考え方等についてまとめたものである。

2 学校を取り巻く現状と課題

（1）学校施設の老朽化

杉並区の学校施設は、昭和 30 年代から 40 年代の児童・生徒の急増対策や校舎の不燃化対策を目的として建築されたものが多く、主に鉄筋コンクリート造の校舎と鉄骨造の屋内運動場で構成されている。

今後 10 年間（平成 35 年度まで）に築後 50 年を経過する学校数は、小学校で 30 校、中学校で 14 校、計 44 校と集中する状況である。



(2) 児童・生徒数の推移

全国的に少子化が進む中、杉並区の児童・生徒数は、昭和 50 年代のピーク時の半分以下に減少している。今後の年少人口(0歳~14歳)についても、しばらくは、横這い状態で推移していく見込みである。

また、児童・生徒の減少について、地域間、学校間で相違が生じている状況がある。

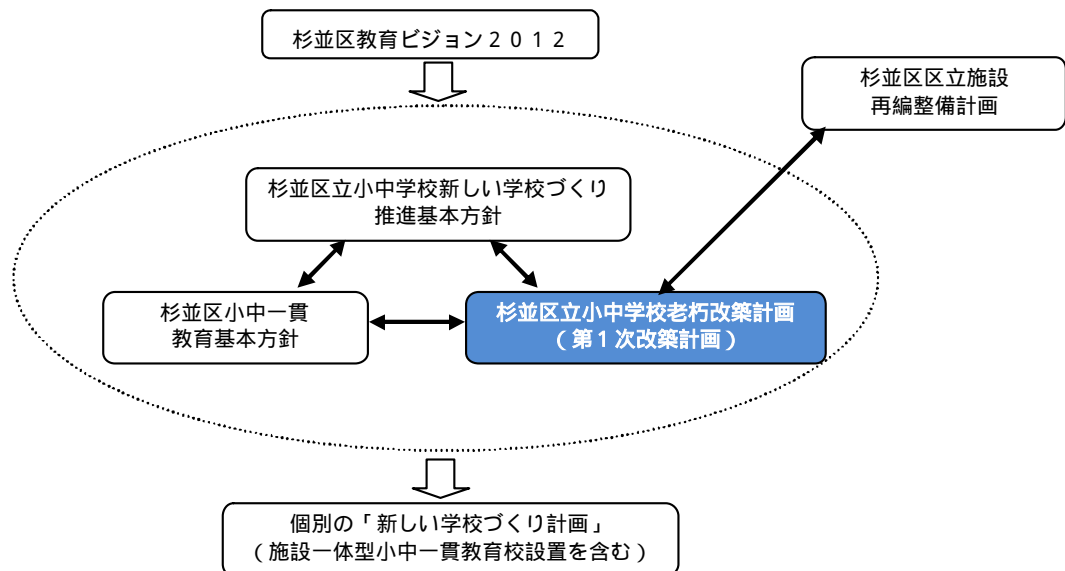
杉並区の児童・生徒数の推移(ピーク時との比較)

小学校		中学校	
(昭和 54 年度)	37,623 人	(昭和 58 年度)	16,394 人
(平成 25 年度)	18,064 人	(平成 25 年度)	6,305 人

3 老朽改築計画の位置付けと進め方

(1) 計画の位置付け

老朽改築計画は、「杉並区教育ビジョン2012」のもとに策定された、新しい学校づくり推進基本方針、杉並区小中一貫教育基本方針に沿って定めるとともに、施設再編整備計画を踏まえることとする。



(2) 計画の期間

「杉並区教育ビジョン2012」に合わせた平成 33 年度までの「第 1 次改築計画」、平成 34 年度~43 年度までの「第 2 次改築計画」、平成 44 年度~53 年度までの「第 3 次改築計画」により、社会状況や地域の状況を踏まえ段階的に改築計画を進める。

なお、第 2 次改築計画は、第 1 次改築計画の終期年度までに、児童・生徒数の将来動向、財政状況、今後の新しい学校づくり計画の状況等を見据えたうえで策定する。

4 老朽改築計画の基本的な考え方

(1) 学校施設の改築時期

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」が平成 10 年度に改正され、固定資産税法などの法定耐用年数が、学校では 60 年から 47 年に変更された。しかし、この耐用年数は税法上の減価償却期間であり、必ずしも構造体力上の寿命と一致するものではない。

日本建築学会が建築物の耐久性について研究した「建築物の耐久計画に関する考え方」では、普通品質の鉄筋コンクリート造の望ましい目標耐用年数は、下限値 50 年、代表値(平均値)60 年としており、「建築工事標準仕様書」(JASS5 鉄筋コンクリート工事 1997・2009 改訂)では、構造体の総合的耐久性として次の 4 水準を定めている。

短期	(計画共用期間30年)
標準	(計画共用期間65年)
長期	(計画共用期間100年)
超長期	(計画共用期間200年)

本区の学校は、昭和 30～40 年代に建設された施設が中心であり、日本建築学会水準の「標準」設計と想定され、今後、適切な施設保全及び改修を計画的に行っていくことを前提として、学校施設の改築時期を築後概ね 50～60 年とし、遅くとも築後 65 年までに改築するよう計画を策定する。

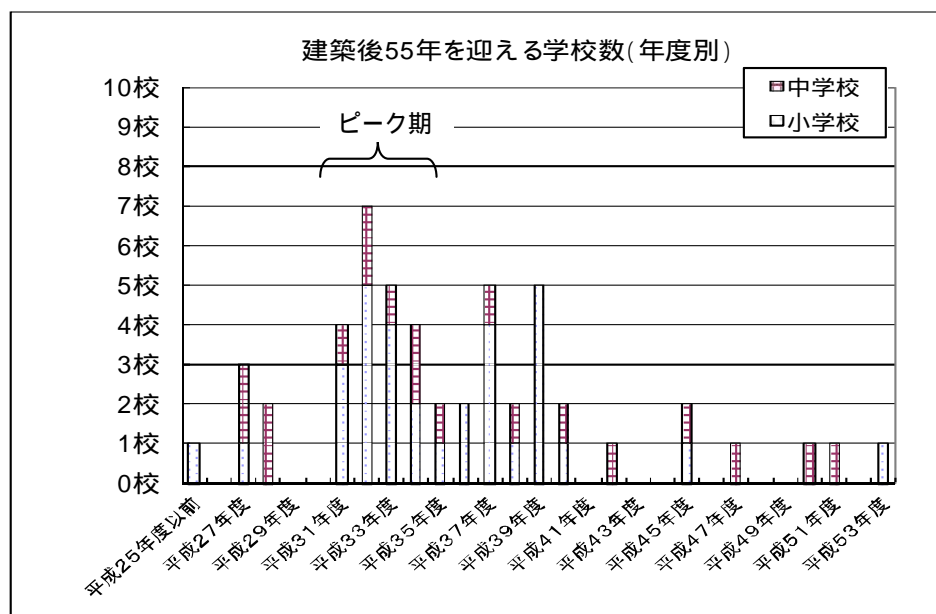
(2) 財政負担の軽減

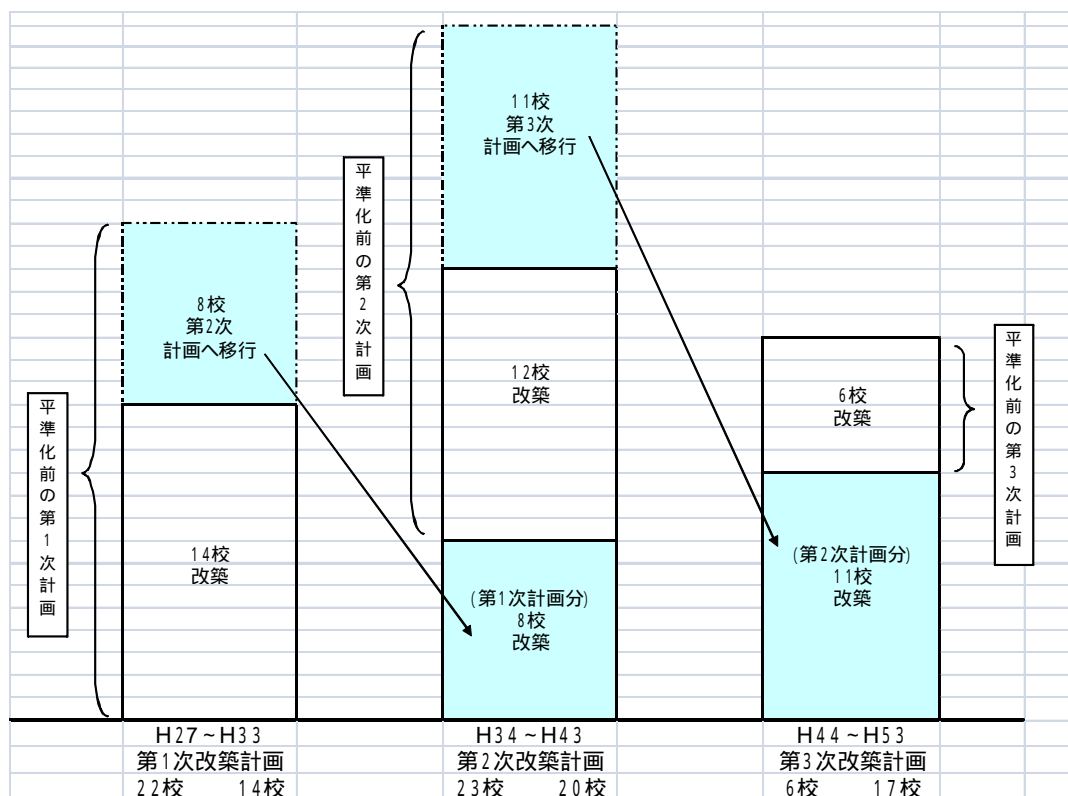
年次別改築校数の平準化

改築時期の 50～60 年の期央である築後 55 年を仮に改築期とした場合の年度別改築校数は、平成 31 年から平成 35 年の 5 箇年がピーク期となり 22 校にのぼる。

第 1 次改築計画で 22 校、第 2 次改築計画で 23 校、第 3 次改築計画で 6 校が対象となり、第 1 次改築計画では毎年 2.75 校、第 2 次改築計画では、毎年 2.3 校と集中する。

そこで、年度間での財政負担の平準化を図り、毎年度 2 校程度の改築事業着手とし、遅くとも築後 65 年までに改築する計画とする。





				平準化前		平準化後
第1次改築計画	平成27年度	~	平成33年度 (7箇年)	22校	➡	14校
第2次改築計画	平成34年度	~	平成43年度 (10箇年)	23校		20校
第3次改築計画	平成44年度	~	平成53年度 (10箇年)	6校		17校
			計	51校		51校

学校施設規模の適正化（スリム化）等による改築経費の縮減

既存の学校の延床面積の平均を見た場合、小学校では5,934㎡、中学校では7,130㎡であるのが、近年の改築校では、平均の延床面積が約9,000㎡である。

今後は、良好な学習環境を維持しつつ、教室と連続したオープンスペース、ランチルームの見直し、諸室の統合（例；調理室と被服室、金工室と木工室の統合）等、施設規模の適正化（スリム化）を図り、7,700㎡～7,800㎡程度（特別支援学級を含む）を目指すとともに、天井の高さやバルコニーの見直し、クールヒートトレンチの廃止等により経費縮減を図る。

（3）学校適正規模の確保及び小中一貫教育の推進

「新しい学校づくり推進基本方針」の学校適正規模（当面目標とする学校規模は、小学校で12～18学級、中学校で9～12学級）を確保することにより、より良い教育環境を推進するとともに、小中一貫教育の推進のもと適宜、個別の「新しい学校づくり計画」に反映させる。

(4) 改築校の選定について

改築校の選定にあたっては、築年数、大規模改修の状況、施設及び設備の老朽化状況、新しい学校づくり計画等を総合的に判断し、杉並区総合計画・実行計画で決定する。

5 改築にあたっての留意点

(1) 学習環境の充実及び環境への配慮

少人数指導など教育方法の多様化に対応するとともに特色ある教育活動が行えるよう施設を充実する。また、自然採光、通風、内断熱などを積極的に取り入れ、エネルギー消費量の削減を目指す。さらに、改定したエコスクール事業を取り入れ、太陽光発電等自然エネルギーの活用も図っていく。

(2) 施設のバリアフリー化の推進

平成18年度のバリアフリー法（「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」）の施行により、特定建築物である学校は「建物等移動等円滑化基準」に適合することが求められる。また、震災時に救援所となることから、エレベーターの設置、玄関、廊下、便所等における段差の解消、学校施設のユニバーサルデザイン化に取り組む。

(3) 防災拠点としての機能強化

学校は、震災救援所に指定されており、地域防災の拠点としての役割を担っている。そのため、必要な便所の確保（マンホールトイレ）、停電時の電源確保、バリアフリー化など災害時の対応に配慮した施設整備を進める。

(4) 特別支援学級等の設置の検討

発達障害に対する早期療育が行われるようになったこと等から、情緒障害学級への希望者が増加しており、東京都の特別支援教育推進第三次計画において、情緒障害学級等の利用者増加に対する体制整備が区に求められていることから、今後の改築校では、特別支援学級等の設置を検討する。

(5) 施設の複合化・多機能化

施設再編整備計画と連動して、地域に開かれた公共空間としての学校の機能を一層拡充するとともに、施設や敷地の有効活用を図るため、他施設との複合化や学校施設の多機能化を図る。なお、学童クラブについては、小学校内での実施を基本とする。

(6) 施設の長寿命化対策

予防保全の観点から、杉並区実行計画に定めている「学校教育諸施設整備充実事業」を施設の中長期修繕計画と位置づけ、適切な維持管理による施設の長寿命化とライフサイクルコストの削減を図る。

(7) その他(仮設校舎)

仮設校舎については、経費削減の観点から出来る限り縮減することが求められるが、一方で、工事期間中についても良好な教育環境の維持は必要である。そのため、事前に学校とも協議し適切な仮設校舎配置となるよう努めるとともに、改築校の状況により使える棟を利用するほか、対応可能な場合は、隣接校の校舎・設備を利用することも含めた多様な検討を行う。

6 第1次改築計画の対象校について

第1次改築計画での改築対象校については、「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づく杉並第四小学校、杉並第八小学校、高円寺中学の小中一貫教育校と「施設再編整備計画(第一期)」に基づく杉並第一小学校の改築を含め、杉並区総合計画・実行計画で決定する。

		第1次改築計画										
改築校		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
1	杉並第四小学校	基本設計	実施設計	改築工事		(外構整備)	}	施設一体型小中一貫教育校として改築				
2	杉並第八小学校											
3	高円寺中学校											
4	杉並第一小学校	(検討・調査)	杉並区立施設再編整備計画のもと実施									
5	A学校			基本設計	実施設計	改築工事	(外構整備)					
6	B学校			"	"	"	"					
7	C学校				基本設計	実施設計	改築工事	(外構整備)				
8	D学校				"	"	"	"				
9	E学校					基本設計	実施設計	改築工事	(外構整備)			
10	F学校					"	"	"				
11	G学校						基本設計	実施設計	改築工事	(外構整備)		
12	H学校						"	"	"	"		
13	I学校							基本設計	実施設計	改築工事	(外構整備)	
14	J学校							"	"	"	"	

《資料編》

資料編					
(資料1 - 1)	小学校の築年数及び建物規模一覧				
(資料1 - 2)	中学校の築年数及び建物規模一覧				
(資料2)	小中学校築50、55、60、65年経過一覧表				
(資料3 - 1)	近年の改築校の経費				
(資料3 - 2)	改築に伴う歳入(国庫負担金・補助金等)				
(資料4 - 1)	小学校標準建物面積一覧				
(資料4 - 2)	中学校標準建物面積一覧				

小学校の築年数及び建物規模一覧

資料1 - 1

平成25年5月1日現在

小学校	児童・学級数 ¹		改築年度 ²	改築後50年経過年度	敷地面積	校舎面積	体育館面積
	児童数	学級数					
1 杉並第一	444	15	昭和32年	平成19年	5,599 m ²	3,736m ²	544m ²
2 杉並第二	538	20	昭和35年	平成22年	10,781 m ²	5,926m ²	614m ²
3 杉並第三	231	9	昭和47年	平成34年	9,905 m ²	4,639m ²	594m ²
4 杉並第四	266	11	4	4	9,277 m ²	4,413m ²	910m ²
5 杉並第六	299	12	昭和39年	平成26年	9,163 m ²	4,637m ²	596m ²
6 杉並第七	277	12	昭和41年	平成28年	8,808 m ²	5,059m ²	594m ²
7 杉並第八	138	6	4	4	8,857 m ²	4,391m ²	594m ²
8 杉並第九	315	12	昭和45年	平成32年	8,843 m ²	5,051m ²	622m ²
9 杉並第十	331	13	昭和61年	平成48年	10,000 m ²	6,199m ²	2,942m ²
10 西田	580	20	昭和42年	平成29年	12,353 m ²	5,392m ²	659m ²
11 東田	220	8	昭和47年	平成34年	7,714 m ²	5,006m ²	594m ²
12 馬橋	491	17	昭和47年	平成34年	9,814 m ²	5,309m ²	630m ²
13 桃井第一	714	24	昭和39年	平成26年	11,652 m ²	5,200m ²	636m ²
14 桃井第二	515	18	昭和40年	平成27年	8,913 m ²	4,871m ²	594m ²
15 桃井第三	520	18	昭和40年	平成27年	6,764 m ²	4,672m ²	605m ²
16 桃井第四	613	21	昭和40年	平成27年	8,153 m ²	4,689m ²	594m ²
17 桃井第五	567	20	平成6年	平成56年	9,095 m ²	6,035m ²	920m ²
18 四宮	651	22	昭和47年	平成34年	12,039 m ²	5,507m ²	655m ²
19 荻窪	704	22	平成21年	平成71年	11,022 m ²	7,282m ²	1,006m ²
20 井荻	290	12	昭和47年	平成34年	9,061 m ²	4,564m ²	630m ²
21 沓掛	577	19	昭和44年	平成31年	11,909 m ²	6,226m ²	589m ²
22 高井戸	574	19	平成20年	平成70年	10,885 m ²	7,517m ²	1,227m ²
23 高井戸第二	589	20	平成26年	平成76年	12,356 m ²	8,169m ²	996m ²
24 高井戸第三	386	14	昭和39年	平成26年	10,166 m ²	5,797m ²	629m ²
25 高井戸第四	196	8	昭和45年	平成32年	7,837 m ²	4,519m ²	617m ²
26 松庵	432	16	昭和46年	平成33年	10,150 m ²	4,262m ²	597m ²
27 浜田山	690	24	昭和41年	平成28年	11,343 m ²	6,226m ²	599m ²
28 富士見丘	291	12	昭和42年	平成29年	9,488 m ²	5,202m ²	594m ²
29 大宮	284	10	昭和41年	平成28年	7,983 m ²	4,733m ²	594m ²
30 新泉	167	7	4	4	7,933 m ²	4,170m ²	582m ²
31 堀之内	448	17	昭和40年	平成27年	8,379 m ²	4,590m ²	1,002m ²
32 和田	438	16	昭和40年	平成27年	10,487 m ²	4,891m ²	599m ²
33 方南	457	17	平成20年	平成70年	10,819 m ²	7,433m ²	938m ²
34 済美	259	10	昭和43年	平成30年	9,497 m ²	5,241m ²	594m ²
35 八成	581	19	昭和45年	平成32年	10,791 m ²	5,288m ²	703m ²
36 三谷	474	18	昭和41年	平成28年	11,426 m ²	4,588m ²	604m ²
37 松ノ木	212	8	昭和44年	平成31年	10,553 m ²	4,049m ²	631m ²
38 和泉 ³	361	13	昭和34年	平成21年	8,835 m ²	3,486m ²	594m ²
39 高井戸東	528	18	昭和48年	平成35年	8,572 m ²	4,768m ²	650m ²
40 久我山	397	14	昭和53年	平成40年	9,539 m ²	5,179m ²	756m ²
41 天沼	468	15	平成22年	平成72年	6,661 m ²	7,185m ²	906m ²
42 永福	551	19	昭和45年	平成32年	11,136 m ²	4,800m ²	1,103m ²
計	18,064	645			404,558m ²	220,897m ²	31,637m ²

1 児童数、学級数は、特別支援学級は除く。

2 改築年度は校舎棟で一番古い建物が対象(体育館や、小規模なあて建物は除く。)

3 和泉小学校は、平成25-26年度で改築工事。(校舎面積が、現在の校舎面積)

4 新泉小学校は、平成26年度をもって、杉並第四小学校、杉並第八小学校は平成30年度をもって廃校予定。

5 高井戸第二小学校は、改築工事のため、校舎面積・体育館面積は計画数値。

中学校の築年数及び建物規模一覧						資料1 - 2		
平成25年5月1日現在								
中学校	生徒・学級数 ¹		改築年度 ²	改築後50年 経過年度	敷地面積	校舎面積	体育館面積	
	生徒数	学級数						
1	高円寺	136	5	昭和39年	平成26年	11,256 m ²	4,975m ²	951 m ²
2	高南	101	4	昭和45年	平成32年	10,226 m ²	5,947m ²	885 m ²
3	杉森	374	11	昭和50年	平成37年	11,900 m ²	7,105m ²	948 m ²
4	阿佐ヶ谷	208	7	平成1年	平成51年	6,954 m ²	7,645m ²	921 m ²
5	東田	291	9	昭和42年	平成29年	16,742 m ²	5,862m ²	978 m ²
6	松溪	307	9	平成22年	平成72年	14,223 m ²	7,380m ²	1,126 m ²
7	天沼	307	10	昭和35年	平成22年	10,694 m ²	5,790m ²	834 m ²
8	東原	195	6	昭和43年	平成30年	13,194 m ²	5,813m ²	1,019 m ²
9	中瀬	286	9	昭和35年	平成22年	11,239 m ²	6,205m ²	862 m ²
10	井荻	355	10	平成11年	平成61年	11,837 m ²	6,442m ²	1,436 m ²
11	井草	478	14	平成23年	平成73年	14,049 m ²	8,988m ²	1,178 m ²
12	荻窪	202	7	昭和42年	平成29年	9,673 m ²	4,577m ²	878 m ²
13	神明	387	12	昭和36年	平成23年	8,226 m ²	5,361m ²	585 m ²
14	宮前	224	6	昭和55年	平成42年	11,594 m ²	7,805m ²	1,102 m ²
15	富士見丘	262	8	昭和48年	平成35年	9,916 m ²	5,456m ²	914 m ²
16	高井戸	378	11	昭和58年	平成45年	13,574 m ²	7,244m ²	1,018 m ²
17	向陽	330	10	昭和41年	平成28年	16,851 m ²	5,339m ²	987 m ²
18	松ノ木	182	6	昭和40年	平成27年	13,760 m ²	5,423m ²	822 m ²
19	大宮	115	4	昭和40年	平成27年	14,338 m ²	5,947m ²	1,341 m ²
20	泉南	245	8	昭和53年	平成40年	11,601 m ²	6,045m ²	861 m ²
21	和田	460	12	昭和46年	平成33年	13,316 m ²	5,685m ²	928 m ²
22	和泉 ³	94	4	昭和59年	平成46年	9,261 m ²	5,700m ²	807 m ²
23	西宮	388	11	昭和36年	平成23年	10,808 m ²	5,033m ²	843 m ²
計		6,305	193			275,232m ²	141,767m ²	22,224m ²
1 児童数、学級数は、特別支援学級は除く。								
2 改築年度は校舎棟で一番古い建物が対象(体育館や、小規模なあて建物は除く。)								
3 和泉中学校は、平成26年度で小中一貫教育校として改修工事計画あり。(校舎面積が、現在の校舎面積)								

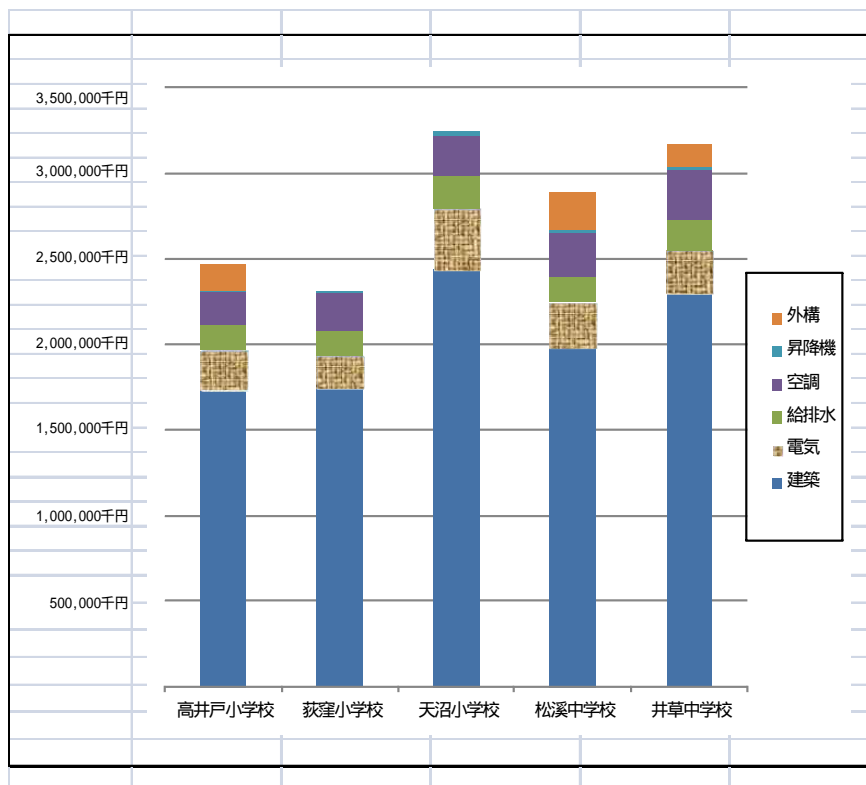
	小中学校	改築年度	改築後50年 経過年度	改築後55年 経過年度	改築後60年 経過年度	改築後65年 経過年度	屋体 改築年
1	杉並第一小学校	昭和32年	平成19年	平成24年	平成29年	平成34年	昭和36年
2	杉並第二小学校	昭和35年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	昭和41年
3	杉並第三小学校	昭和47年	平成34年	平成39年	平成44年	平成49年	昭和45年
4	杉並第四小学校						
5	杉並第六小学校	昭和39年	平成26年	平成31年	平成36年	平成41年	昭和41年
6	杉並第七小学校	昭和41年	平成28年	平成33年	平成38年	平成43年	昭和40年
7	杉並第八小学校						
8	杉並第九小学校	昭和45年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	昭和46年
9	杉並第十小学校	昭和61年	平成48年	平成53年	平成58年	平成63年	昭和61年
10	西田小学校	昭和42年	平成29年	平成34年	平成39年	平成44年	昭和43年
11	東田小学校	昭和47年	平成34年	平成39年	平成44年	平成49年	昭和44年
12	馬橋小学校	昭和47年	平成34年	平成39年	平成44年	平成49年	昭和40年
13	桃井第一小学校	昭和39年	平成26年	平成31年	平成36年	平成41年	昭和37年
14	桃井第二小学校	昭和40年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	昭和44年
15	桃井第三小学校	昭和40年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	昭和45年
16	桃井第四小学校	昭和40年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	昭和45年
17	桃井第五小学校	平成6年	平成56年	平成61年	平成66年	平成71年	平成 6年
18	四宮小学校	昭和47年	平成34年	平成39年	平成44年	平成49年	昭和53年
19	荻窪小学校	平成21年	平成71年	平成76年	平成81年	平成86年	平成21年
20	井荻小学校	昭和47年	平成34年	平成39年	平成44年	平成49年	昭和43年
21	香榎小学校	昭和44年	平成31年	平成36年	平成41年	平成46年	昭和41年
22	高井戸小学校	平成20年	平成70年	平成75年	平成80年	平成85年	平成22年
23	高井戸第二小学校	平成26年	平成76年	平成81年	平成86年	平成91年	平成26年
24	高井戸第三小学校	昭和39年	平成26年	平成31年	平成36年	平成41年	平成46年
25	高井戸第四小学校	昭和45年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	昭和38年
26	松庵小学校	昭和46年	平成33年	平成38年	平成43年	平成48年	昭和46年
27	浜田山小学校	昭和41年	平成28年	平成33年	平成38年	平成43年	昭和45年
28	富士見丘小学校	昭和42年	平成29年	平成34年	平成39年	平成44年	昭和37年
29	大宮小学校	昭和41年	平成28年	平成33年	平成38年	平成43年	昭和45年
30	新泉小学校						
31	堀之内小学校	昭和40年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成11年
32	和田小学校	昭和40年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	昭和43年
33	方南小学校	平成20年	平成70年	平成75年	平成80年	平成85年	平成20年
34	済美小学校	昭和43年	平成30年	平成35年	平成40年	平成45年	昭和41年
35	八成小学校	昭和45年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	昭和37年
36	三谷小学校	昭和41年	平成28年	平成33年	平成38年	平成43年	昭和46年
37	松ノ木小学校	昭和44年	平成31年	平成36年	平成41年	平成46年	昭和46年
38	和泉小学校	平成27年	平成77年	平成82年	平成87年	平成92年	
39	高井戸東小学校	昭和48年	平成35年	平成40年	平成45年	平成50年	昭和48年
40	久我山小学校	昭和53年	平成40年	平成45年	平成50年	平成55年	昭和53年
41	天沼小学校	平成22年	平成72年	平成77年	平成82年	平成87年	平成22年
42	永福小学校	昭和45年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成24年
43	高円寺中学校	昭和39年	平成26年	平成31年	平成36年	平成41年	平成16年
44	高南中学校	昭和45年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	昭和37年
45	杉森中学校	昭和50年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成元年
46	阿佐ヶ谷中学校	昭和64年	平成51年	平成56年	平成61年	平成66年	平成元年
47	東田中学校	昭和42年	平成29年	平成34年	平成39年	平成44年	昭和48年
48	松溪中学校	平成22年	平成72年	平成77年	平成82年	平成87年	平成22年
49	天沼中学校	昭和35年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	昭和37年
50	東原中学校	昭和43年	平成30年	平成35年	平成40年	平成45年	昭和36年
51	中瀬中学校	昭和35年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	昭和36年
52	井荻中学校	平成11年	平成61年	平成66年	平成71年	平成76年	平成11年
53	井草中学校	平成23年	平成73年	平成78年	平成83年	平成88年	平成23年
54	荻窪中学校	昭和42年	平成29年	平成34年	平成39年	平成44年	昭和37年
55	神明中学校	昭和36年	平成23年	平成28年	平成33年	平成38年	昭和33年
56	宮前中学校	昭和55年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年	平成 3年
57	富士見丘中学校	昭和48年	平成35年	平成40年	平成45年	平成50年	昭和55年
58	高井戸中学校	昭和58年	平成45年	平成50年	平成55年	平成60年	昭和58年
59	向陽中学校	昭和41年	平成28年	平成33年	平成38年	平成43年	昭和36年
60	松ノ木中学校	昭和40年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	昭和37年
61	大宮中学校	昭和40年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成 4年
62	泉南中学校	昭和53年	平成40年	平成45年	平成50年	平成55年	昭和38年
63	和田中学校	昭和46年	平成33年	平成38年	平成43年	平成48年	昭和35年
64	和泉中学校	昭和59年	平成46年	平成51年	平成56年	平成61年	昭和59年
65	西宮中学校	昭和36年	平成23年	平成28年	平成33年	平成38年	昭和38年

高井戸小学校は、昭和 57 年竣工の校舎棟、方南小学校は、昭和 58 年竣工の校舎棟がある。

杉並第四小学校、杉並第八小学校は、「高円寺地域における新しい学校づくり計画」(平成 25 年 11 月)に基づき、小中一貫教育校計画ある。

近年の改築校の経費

資料 3-1



改築に伴う歳入 (国庫負担金・補助金等)

資料 3-2

補助対象		負担金・補助金	歳入年度
方南小学校	校舎	248,164千円	平成18・19年度
	体育館	68,962千円	
	給食室	19,854千円	
	計	336,980千円	
高井戸小学校	校舎	196,047千円	平成18～22年度
	プール	15,066千円	
	体育館	78,291千円	
	臨時・芝生	125,938千円	
	計	415,342千円	
荻窪小学校	校舎	362,738千円	平成19・20年度
	体育館	72,301千円	
	給食室	15,869千円	
	プール	17,812千円	
	計	468,720千円	
天沼小学校	校舎	363,534千円	平成20～22年度
	体育館	63,576千円	
	給食室	7,916千円	
	プール	17,176千円	
	屋外・芝生	9,871千円	
	計	462,073千円	
松溪中学校	校舎	183,461千円	平成20～22年度
	体育館	85,893千円	
	給食室	6,354千円	
	プール	18,144千円	
	臨時交付	89,065千円	
	計	382,917千円	
井草中学校	校舎	341,113千円	平成22・23年度
	体育館	79,760千円	
	給食室	7,738千円	
	プール	13,187千円	
	計	441,798千円	

小学校標準建物面積一覧				資料4-1
18学級規模				
1 校舎	(5,879㎡)	教室	普通教室 21室 (1,344㎡)	普通教室18室、少人数教室3室 各64㎡ (8m×8mを基準とする)
			特別教室 10室 (1,094㎡)	理科室 2室、音楽室 2室、図工室 1室、家庭科室 1室 各96㎡
				図書室166㎡、パソコン室96㎡
				多目的室 2室 各128㎡
			準備室 (230㎡)	5室×32㎡、3室×16㎡、1室×12㎡、1室×10㎡
			管理室 (880㎡)	職員室160㎡、校長室・応接スペース64㎡、事務室64㎡、 保健室96㎡、会議室 64㎡、用務・警備室 32㎡、 教育相談室 32㎡、教材管理室 32㎡、放送室 16㎡、 郷土資料室 96㎡
			付属室 (224㎡)	印刷室 64㎡、管理倉庫 32㎡、職員更衣室 32㎡、 児童更衣室 64㎡、学校支援本部・PTA室 32㎡
			プール (100㎡)	屋上プール 25m×10m 水深0.9m～1.1m 6コース
			付属施設 (100㎡)	更衣室2室(各24㎡)、便所 20㎡、倉庫・機械室 32㎡
			その他 (2,231㎡)	その他諸室 (2,231㎡)
特別支援学級 (300㎡)		特別支援学級 (300㎡)	300㎡	
2 屋内運動場	(854㎡)	運動場	アリーナ 672㎡(24m×28m 高さ8m以上)	
			ステージ 120㎡	
		付属室 (62㎡)	器具庫56㎡、放送室 6㎡	
3 屋外倉庫	(202㎡)	屋外倉庫 (202㎡)	屋外倉庫20㎡、屋外体育倉庫40㎡、 屋外開放倉庫20㎡、学校防災倉庫80㎡、 ゴミ置場10㎡、自転車置場14㎡、飼育小屋 16㎡、 石灰倉庫2㎡	
		給食調理場	給食調理場 (250㎡)	250㎡(前室、控室、シャワー室、便所等含む)
4 給食調理場	(278㎡)	付属施設 (28㎡)	配膳室、残菜置場、廃油置場 28㎡	
		5 学校開放諸室	会議室等 (80㎡)	会議室 1室64㎡、指導員詰所 16㎡
6 その他	(314㎡)	付属施設 (93㎡)	器具庫、更衣室・シャワー室(男女別)、便所、玄関 93㎡	
		学童クラブ (300㎡)	300㎡	
		屋外便所	14㎡	
		計	8,000㎡	
<p>上表は、小学校標準建物規模8,000㎡程度(特別支援学級、学童クラブスペース含む)を基本とし、各諸室等を割り振った目安であり、実際には、学校規模、敷地の形状や諸条件等で変動する。</p>				

中学校標準建物面積一覧				資料4-2	
12学級規模					
1	校舎 (5,561㎡)	教室	普通教室 14室 (1,008㎡)	普通教室12室、進路指導室1室、英語教室1室 各72㎡ (8m×9mを基準とする)	
			特別教室 11室 (1,228㎡)	理科室 2室、音楽室 1室、美術室1室 各108㎡ 家庭科室1室、技術室1室 各160㎡ 図書室、パソコン室260㎡ 多目的室 3室 各72㎡	
			準備室 (328㎡)	4室×36㎡、2室×72㎡、PC準備室8㎡、 図書準備室20㎡、陶芸窯置場 12㎡	
		管理室 (934㎡)	管理室 (646㎡)	職員室160㎡、校長室応接スペース72㎡、事務室72㎡、 保健室108㎡、会議室 72㎡、用務・警備室 36㎡、 教育相談室 36㎡、教材管理室 72㎡、放送室 18㎡	
			付属室 (288㎡)	印刷室 72㎡、管理倉庫 36㎡、職員更衣室 72㎡、 生徒更衣室 72㎡、学校支援本部・PTA室 36㎡	
		プール (100㎡)	屋上プール	25m×11m 水深1.1m～1.4m 6コース	
			付属施設 (100㎡)	更衣室2室(各24㎡)、便所 20㎡、倉庫・機械室 32㎡	
			その他 (1,963㎡)	その他諸室 (1,963㎡)	昇降口144㎡、玄関16㎡、職員・来賓用便所 72㎡、 児童用便所(男子7室、女子7室)各36㎡、 階段、廊下、エレベーター、機械室、倉庫等 1,227㎡
		特別支援学級 (300㎡)	特別支援学級 (300㎡)	300㎡	
		2	屋内運動場 (1,236㎡)	運動場	アリーナ 800㎡(25m×32m 高さ8m以上) ステージ 120㎡、 武道場 230㎡
付属室 (86㎡)	器具庫64㎡、放送室6㎡ 体育準備室 16㎡				
屋外倉庫 (186㎡)	屋外倉庫20㎡、屋外体育倉庫40㎡、 屋外開放倉庫20㎡、学校防災倉庫80㎡、 ゴミ置場10㎡、自転車置場14㎡、 石灰倉庫2㎡				
4	給食調理場 (286㎡)	給食調理場 (250㎡)	250㎡(前室、控室、シャワー室、便所等含む)		
		付属施設 (36㎡)	配膳室、残菜置場、廃油置場 36㎡		
5	学校開放諸室 (217㎡)	会議室等 (124㎡)	会議室・準備室 1室 108㎡ 指導員詰所1室 16㎡		
		付属施設 (93㎡)	器具庫、更衣室・シャワー室(男女別)、便所、玄関 93㎡		
6	その他(14㎡)	屋外便所	14㎡		
		計	7,800㎡		

上表は、中学校標準建物規模7,800㎡程度(特別支援学級含む)を基本とし、各諸室等を割り振った目安であり、実際には、学校規模、敷地の形状や諸条件等で変動する。

